

日本鋼管株式會社三十年史 目次

序 文

白石元治郎

編者の言葉

小島 精 一

述 懷——創業滿三十週年に際して——

白石元治郎(卷末)

第一篇 日本鐵鋼業の發展と吾社の役割

はしがき.....三

第一章 第一次世界大戰前の日本鐵鋼業と吾社創立の意義.....一〇

(一) 近代製鐵業の萌芽的發達.....二〇

(二) 八幡製鐵所の創立と發展.....二三

(三) 吾社の創立とその意義.....二九

第二章 第一次大戰期の發展とその反動.....二六

(一) 大戰期に於ける鐵鋼業の飛躍的發展.....二六

(二) 休戰に伴ふ大反動の襲來.....三三

(三) 吾社の第一次躍進と反動.....四〇

第三章 不況の深刻化と合理化運動…………… 四〇

(一) 持續的不況の深刻化…………… 四〇

(二) 經營合理化の展開…………… 四一

(三) 鐵鋼業保護とカルテル・トラスト運動…………… 四二

(四) 吾社の合理化工作…………… 四三

第四章 準戰時代の鐵鋼業…………… 四七

(一) 金再禁止後の鐵鋼業…………… 四七

(二) 日本製鐵株式會社の出現…………… 四八

(三) 獨立アウトサイダーとしての吾社の躍進…………… 四九

第五章 支那事變と鐵鋼業…………… 五二

(一) 自主的鐵鋼業の確立…………… 五二

(二) 戰時鐵鋼統制の進展…………… 五三

(三) 經濟新體制と鐵鋼統制會の設立…………… 五四

(四) 綜合多角經營としての吾社の偉容…………… 五五

第二篇 吾社三十年の奮闘史

第一章 吾社創立の沿革…………… 二九

(一) 大倉喜八郎氏の鋼管製造計畫……………一一九

(二) 白石元治郎氏の登場……………一三九

(三) 吾社の本格的創立運動……………一四七

(四) 會社の成立と建設の準備……………一五〇

第二章 創業時代……………一五〇

(一) 工場建設……………一五〇

(二) 試運転時代……………一五四

(三) 作業會計の開始……………一五九

第三章 大戰時の發展……………一六〇

(一) 需要の激増と工場の大擴張……………一六〇

(二) 營業成績の飛躍的發展……………一六五

(三) 初期の販路開拓問題……………一六七

第四章 戦後反動と關東大震災……………一七〇

(一) 休戦と反動の襲來……………一七〇

(二) 世界的大恐慌の打撃……………一七五

(三) 社業の整理と業績の回復……………一八〇

(四) 關東大震災と復舊的努力……………一八三

第五章 不況裡の合理化工作 一八六

(一) 恐慌對策としての増産と合理化 一八六

(二) 深刻な金融難の打開工作 一九一

(三) 不況裡の小康 一九三

(四) 金解禁下の慘狀 一九六

第六章 更生・躍進時代 一九六

(一) 金輸出の再禁止 一九六

(二) 軍備擴張による躍進 二〇〇

(三) 高爐の建設と製鋼能力の増大 二〇四

第七章 銑鋼一貫作業時代 二二二

(一) 扇町工場の出現 二二三

(二) 銑鐵増産と原料自給 二二五

(三) 支那事變直前に於ける吾社の全貌 二二三

第八章 支那事變と吾社の發展 三三六

(一) 戦時統制の合理化と増産 三三六

(二) 日本式トーマス轉爐の操業 三三六

(三) 最近の發展狀況 三三三

第九章 鶴見製鐵造船會社の合併……………三三

(一) 淺野翁と鶴見製鐵造船會社……………三三

(二) 鶴見製鐵造船會社の最近の發展……………三四

(三) 白石淺野精神の集大成……………三九

結び 洋々たる前途……………三五

第三篇 工場及製品

第一章 吾社の技術的特徴……………三三

(一) 綜合的多角經營……………三三

(二) 日本鐵鋼業の實驗室として……………三四

(三) 日本式トーマス製鋼法の開始……………三六

鹽基性轉爐製鋼法の開始に就て (今泉嘉一郎)

第二章 川崎製鋼所……………三三

(一) 概 説……………三三

(二) 製鋼工場……………三五

(イ) 平爐工場……………三五

(ロ) 轉爐工場……………三七

(ハ) 製品の特質……………三九

| | |
|---------------|-----|
| (三) 製管工場 | 二九〇 |
| (イ) 第一製管工場 | 二九〇 |
| (ロ) 第二製管工場 | 二九五 |
| (ハ) 第三製管工場 | 二九五 |
| (ニ) 大管工場 | 二九六 |
| (ホ) 第四製管工場 | 三〇一 |
| (四) 鋼材壓延工場 | 三〇一 |
| (イ) 第一小形工場 | 三〇一 |
| (ロ) 第二小形工場 | 三〇三 |
| (ハ) 中形工場 | 三〇三 |
| (三) 大形工場 | 三〇四 |
| 第三章 扇町製鐵所 | 三〇五 |
| (一) 概説 | 三〇五 |
| (二) 高爐工場 | 三〇八 |
| (三) 骸炭工場 | 三一一 |
| (四) 副産物工場 | 三一三 |
| (イ) 瓦斯コールター工場 | 三一三 |
| (ロ) 硫安工場 | 三一四 |

| | | |
|-----|-------------------|-----|
| (六) | ペンゾール精製工場 | 三二四 |
| (三) | 高壓瓦斯工場 | 三二四 |
| | 第四章 その他の工場・鑛山及研究所 | 三二五 |

| | | |
|-----|---------|-----|
| (一) | 鶴見造船所 | 三二五 |
| (二) | 鶴見製鐵所 | 三二九 |
| (三) | 淺野船渠 | 三三一 |
| (四) | 電氣製鐵所 | 三三四 |
| (五) | 大阪鋼管製造所 | 三三七 |
| (六) | 大阪製作所 | 三三六 |
| (七) | 亞鉛工業研究所 | 三三六 |
| (八) | 鑛山 | 三三九 |
| (九) | 技術研究所 | 三三二 |

第四篇 組織及施設

| | |
|--------|-----|
| 第一章 定款 | 三三五 |
|--------|-----|

| | | |
|-----|---------|-----|
| (一) | 創立當時の定款 | 三三五 |
| (二) | 定款の變更 | 三三九 |

| | |
|-------------|-----|
| (三) 現行定款 | 三九一 |
| 第二章 役員 | 三九八 |
| 第三章 職制 | 三六四 |
| 第四章 從業員 | 三六九 |
| (一) 職員 | 三六九 |
| (二) 工員 | 三七九 |
| 第五章 厚生施設 | 三八五 |
| (一) 概説 | 三八五 |
| (二) 教化施設 | 三九二 |
| (イ) 教育施設 | 三九二 |
| (ロ) 修養施設 | 三九三 |
| (三) 體育、娛樂施設 | 三九三 |
| (イ) 體育會 | 三九三 |
| (ロ) 情操會 | 三九四 |
| (ハ) 慰安 | 三九四 |
| (四) 保健衛生施設 | 三九四 |

| | | |
|-----|--------|-----|
| (五) | 經濟施設 | 三九五 |
| (六) | 安全施設 | 三九六 |
| (七) | 軍事關係施設 | 三九七 |

第五篇 經理

| | | |
|-----|-------------|-----|
| 第一章 | 資本金 | 四〇一 |
| 第二章 | 株主 | 四〇五 |
| 第三章 | 損益率 | 四一二 |
| 第四章 | 配當金 | 四一五 |
| 第五章 | 固定資産の推移 | 四一九 |
| 第六章 | 吾社の關係事業 | 四二三 |
| (一) | 鐵鋼證券株式會社 | 四二四 |
| (二) | 東京シャリング株式會社 | 四二五 |
| (三) | 日本鑄造株式會社 | 四二五 |
| (四) | 川崎窯業株式會社 | 四二六 |

| | | |
|------|--------------|----|
| (五) | 奧多摩電氣鐵道株式會社 | 四七 |
| (六) | 日滿鋼管株式會社 | 四七 |
| (七) | 日本高爐セメント株式會社 | 四八 |
| (八) | 南洋鐵礦株式會社 | 四八 |
| (九) | 日本耐火材料株式會社 | 四九 |
| (一〇) | 吉澤石灰工業株式會社 | 四九 |
| (一一) | 武藏野石灰株式會社 | 四〇 |
| (一二) | 日鋼滿俺株式會社 | 四〇 |
| (一三) | 精密研磨機製造株式會社 | 四一 |
| (一四) | 日本ドロマイト株式會社 | 四一 |
| (一五) | 明知耐火煉瓦株式會社 | 四二 |
| (一六) | 橫濱衡器製作株式會社 | 四三 |

述 懷……………白石元治郎(四三—四五)

卷末附錄

年 譜……………四六〇

統計圖表……………(四六一—四七二)

統計表……………四七

川崎製鋼所生産高表

電氣製鐵所生産高表

鶴見製鐵所生産高表

川崎製鋼所販賣高表 其ノ一

川崎製鋼所販賣高表 其ノ二

電氣製鐵所販賣高表

鶴見製鐵所販賣高表

本社及工場所在地一覽表……………四八五

本史編纂關係者氏名……………四八六

〔目次了〕